

IV 話し合いの能力分析表

話し合いの段階	立場	態度・技能	話し合いに必要な技能や態度 ※ (ル)→話し合いのとき「守るべきルール」を表す。	学年				評価方法	
				小高	中1	中2	中3		
話し合いの前		技能	話し合う目的を理解している。	◎				ワークシート	
			自分の考えや根拠をわかりやすくメモしている。		○	◎		ワークシート	
			反論や異なる意見がある程度予測している。		○	◎		ワークシート	
			予想される反論への対策を考えている。			○	◎	ワークシート	
話し合いのとき	発言するとき	技能	話す速度や音量を調節している。	◎				観察	
			話す内容に応じて声の調子を変えて話すことができる。	○	◎			観察	
			相手の反応を見ながら間の取り方を工夫して話している。	○	◎			観察	
			要点を簡潔に述べている。		○	◎		観察	
			考えがよく伝わるよう、表情や仕草を工夫している。	○	○	○	◎	観察	
			相手や場に応じた言葉(敬意・難易)を選んでいる。	○	○	○	◎	観察	
		発言内容	テーマに沿って発言している。	◎				観察	
			立場を明確にしている。	◎				観察	
			理由や根拠を明確にしている。	◎				観察	
			理由や根拠を持って反論している。	○	◎			観察	
			例を挙げるなどして、具体的に述べている。		○	◎		観察	
			互いの意見を生かし合う発言をしている。			○	◎	観察	
	質問するとき	話し合いを深めたり、進展させたりするような意見を述べている。			○	◎	観察		
		必要に応じて、他者の発言内容を確認している。	◎				観察		
		他者の発言内容を踏まえて質問している。	○	◎			観察		
		相手の発言内容をさらに深めるような質問をしている。		○	○	◎			
	話し合いのとき	態度	積極的に発言しようとしている。	◎				観察	
			相手の発言が済んでから発言している。(ル)	◎				観察	
			相手の顔を見ながら発言している。	◎				観察	
			相手を不快にするような言葉は使わない。(ル)	◎				観察	
			相手の揚げ足を取るような発言をしない。(ル)	○	◎			観察	
			自分ばかり発言しないようにする。(ル)	○	◎				
話し合いのとき	聞くとき	技能	話し手の発言内容や意図を正確に理解している。	◎				観察	
			自分の考えと比較しながら聞いている。	○	○	◎		ワークシート	
			進行に沿って発言内容を簡単にメモすることができる。	○	○	◎		ワークシート	
			要点を随時チャート式にまとめることができる。		○	○	◎	ワークシート	
	聞くとき	態度	発言者の顔を見ながら聞いている。	◎				観察	
			話し手に反応(うなずき、あいづちなど)しながら聞いている。	○	◎			観察	
			異なる意見を受け入れながら聞いている。	○	○	○	◎	観察	
	話し合いのとき	進行するとき	技能	話題からそれないように調整している。	○	◎			観察
				一方的な意見に偏らないように、調整しながら進行している。	○	◎			観察
				参加者全員に偏りなく発言を促している。	○	◎			観察
				話に区切りを付け、次に進めている。		○	◎		観察
話し合いが停滞したときに、違う切り口から話し合いを進めている。					○	○	◎	観察	
進行するとき	態度	個々の意見をきちんと聞いている。	○	◎			観察		
		全体の流れをとらえ、場に応じて発言している。		○	◎		観察		
話し合いの後		技能	自分の考えが変わったり深まったりしたことに気づいている。	○	◎			ワークシート	
			他のメンバーの態度や技能から、学んだことに気づいている。	○	◎			ワークシート	
			話し合いで学んだ技能を確認できる。		○	◎		ワークシート	

※評価方法が「観察」のみの部分は、学習のふりかえりのワークシートのなかの、生徒の自己評価を加味する。

話し合いの能力分析表を有効活用するために

ここでいう「話し合い」とは……

よりよい方向を目指した小グループでの話し合いを想定しています。「発言するとき」と、聞くとき」「進行するとき」が柔軟に入れ替わる話し合いです。そのため、あえて「意見を述べられない司会」はおいていません。

ここが使える!!

☆ **小中連携を視野に入れていきます。**

小学校での既習事項を入れていきますので、その復習を兼ねて指導できます。

☆ **横断的な指導を意識していきます。**

国語科での指導を基盤に、各教科等や学活・道徳・総合的な学習の時間での活用もできます。T Tの指導も可能です。

☆ **指導と評価の一体化**

「学習指導目標」兼「評価基準」として活用できます。

☆ **話し合いの事前事後の指導についても考慮していきます。**

段取り力が身につきます。ワークシート作りの参考にもなります。

☆ **指導の重点化**

すべての項目を扱う必要はありません。取り扱う学年・学期・時期によって、重点的に指導したい項目をピックアップしてください。中1～中3の3年間で、○や◎がついている項目の指導ができればいいのです。

※ **空欄について**

今後さらに検討の余地があるため、空欄を設けています。これから奈良県の先生方で試行し、新しい項目を加えたり、不足を補ったりしながら、より使いやすいものを共に創り上げていくための土台にしたいと考えています。また、指導要領では「対話」に関する記述が少ないため、指導の時期や完成の時期については、生徒の状況を踏まえながら、希望的視点で書かれているものもあります。この点についても、今後先生方のご意見をもとに、さらに検討していく必要があると考えています。